

ゆ す ま い る
ゆ す ま い る



屋根葺き替え中の「宮野々廻り舞台」を見学

季刊誌

春号

2022

もくじ

Number. 43

- 1 地域福祉係職員紹介
- 2 令和4年度 事業計画・当初予算
- 3 地域福祉活動計画 ・ 地域共生
- 4 赤い羽根共同募金・地域活動推進事業
- 5～10 地域福祉コーディネーター活動報告
- 11～13 YURURI ゆずはらより
- 14 輝く栲原人！み～つけたっ！

お知らせ お助けマン紹介 生活援助従事者研修
令和4年度 無料法律相談 実施日程



西村健臣さんと巨大大根

地域福祉系の
職員を
紹介します！！

気軽にお声がけください

前田 京子
(まえだ きょうこ)

玉川 富美恵
(たまがわ むみえ)

川田 沙月
(かわだ さつき)



矢野 裕子
(やの ゆうこ)

西村 悠
(にしむら はるか)

山口 あゆみ
(やまぐち あゆみ)

四万川区・西区 担当

東区・初瀬区 担当

越知面区・松原区 担当

家計のやりくりが
うまくいかないわあ～

地域で楽しい集まりを
作りたい！！

別に用事はないけど
社協ってどんなところなの？

まだ使えそうな不用品が
家にあるけど、だれか貰って
くれないかしら！！

歌が得意！！
いつか披露したいなあ

地域のおばあちゃんと
一緒にお手玉で遊びたい



令和4年度 事業計画・当初予算

事業計画

● 法人運営事業

理事会・評議員会の開催

● 相談援助活動

日常生活自立支援事業
生活困窮者自立相談支援事業
法人成年後見事業
生活福祉資金貸付事業
指定特定相談支援事業
指定障害児相談支援事業

● 地域福祉の推進

安心生活基盤構築事業
地域福祉コーディネーター活動
○ 地域活動
(困り事の早期発見と課題解決)
○ 集いの場への参加
(地域力の維持と継続への後方支援)
福祉教育
○ 梶原学園高齢者疑似体験
赤い羽根共同募金助成事業
○ 地域活動推進事業
○ 無料法律相談

● 住民参加の福祉活動の推進

つむぎあい(地域支えあい活動)
リユースゆすはら(休眠資源活用事業)
おげんき発信(高齢者の自発型安否確)

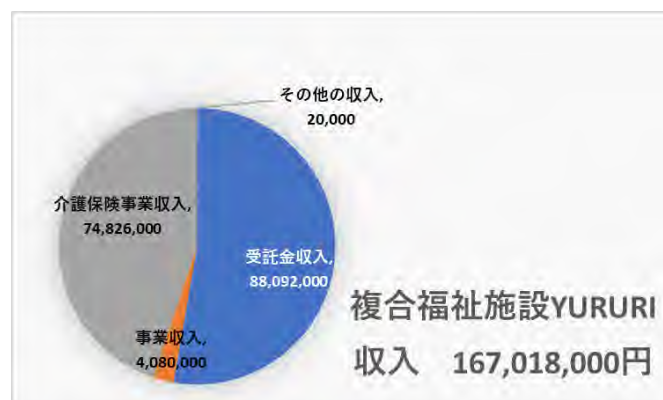
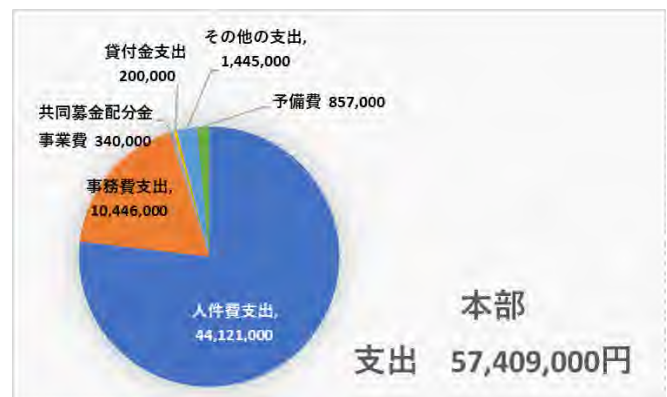
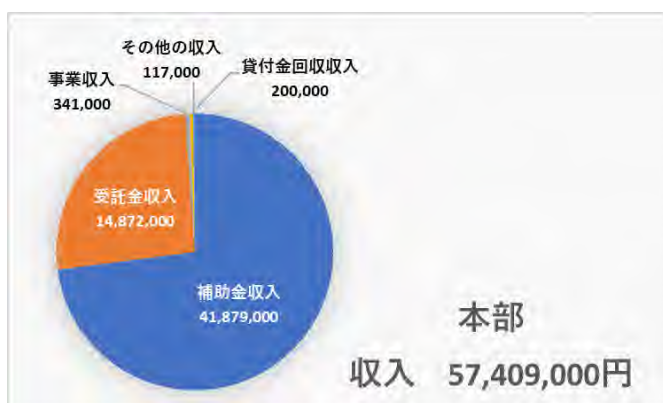
● 各種団体の活動支援 団体事務局

梶原町老人クラブ連合会
梶原町身体障害者連盟
梶原町共同募金委員会

● 施設運営 複合福祉施設 YURURI ゆすはら

デイサービスゆるり
○ 食事・入浴・レクリエーション活動
○ 健康チェック・機能訓練
ケアハウスゆるり
○ 食事・入浴・レクリエーション活動
○ 健康管理・機能訓練
高齢者生活支援ハウス
○ 生活援助
フィットネス・町民交流室の運営管理

当初予算



地域福祉活動計画に向けて

地域の声を聞かせてください！



平成29年に「一緒にやる福祉へ」を合言葉に、地域の皆さんの声をもとに策定した地域福祉計画・地域福祉活動計画が、令和4年度に改定期を迎えました。

この計画は、地域福祉に関する施策の計画(地域福祉計画)と『みんなが安心して暮らせる地域』の姿を住民の皆さんと共有し、その姿に近づくための地域の取り組みを、住民の皆さんとともに進めていくための標となる計画(地域福祉活動計画)で、後者は地域の支えあいや、生きがいなど皆さんの想い、地域の強みや課題などを計画の中に反映し、どのような取り組みがあればよいか、地域の皆さんにも一緒に考え作っていくものです。

前回計画の策定の際には、「多少の不便でも住み慣れた地域で暮らし続けたい」「みんなで寄り合い助け合って地域の先輩が育んできたものを次世代へつなげたい」など、地域への愛着と、今ある互助共助の継承を望む声も多く寄せられました。そうした声が多かった地域の中には、つながりを強くしようと『独自の避難訓練』や、『集いの場をつくる』などの活動を興したところもありました。

コロナ禍でもあり、既存の活動や小さな集い、また個別にお声掛けをさせていただき、皆さんのお声を伺いたいと思います。よろしくお願いいたします。

誰もが役割を持てる

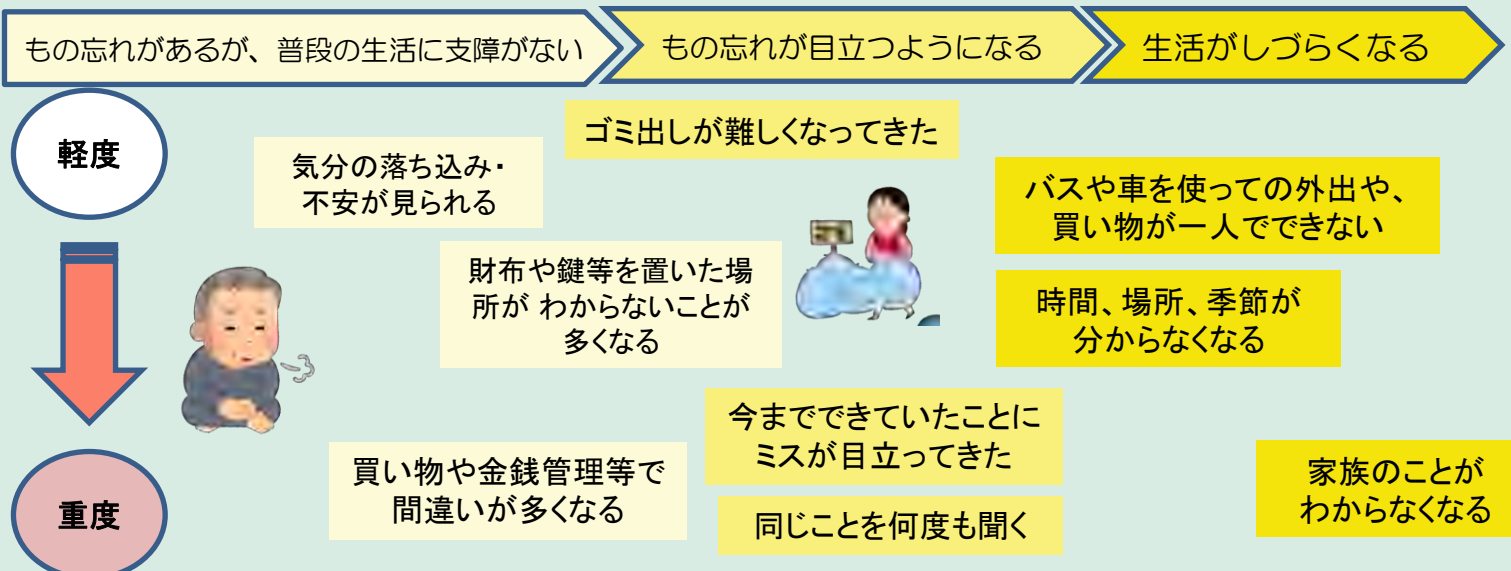


地域共生社会

『地域共生社会』とは・・・高齢者や障害者、子どもなど地域の全ての人々が、一人ひとりの暮らしと生きがいをともに創り、高め合う社会のことです。

今年度の地域共生社会シリーズは、**気づく・知る・つながる**を通して地域の支えあいのあり方について皆さまと共に学び考えていきます。そこで今回は、**気づく**をテーマとし認知症の人とその家族の方が地域でお友達などと一緒に安心して暮らしつづけられるためにどのように支えることができるか考えてみましょう。

認知症機能の障害によって、日々の生活に支障をきたすようになるのが認知症の大きな特徴です。症状や進行の度合いには個人差がありますが、発症からおおよそ10年ぐらいの経過を示してあります。



早期発見「いつもとちょっと違うなあ。」からはじまる気づき大切です。ちょっとした支えや声掛けがあったらできることがあります。地域で安心して暮らしていくための仕組みを一緒に考えていきましょう。



令和3年度の **赤い羽根共同募金総額は、795,183円**でした。
ご協力ありがとうございました。



災害義援金は、合計735円 をお預かりし、高知県共同募金会を通じて 中央募金会、福島県、広島県、愛媛県、岡山県、静岡県の各県共同募金委員会へ送金をさせていただきました。

赤い羽根共同募金の配分金を活用し 今年度は5事業が実施されました

● まごころ弁当配食事業	【実施主体】まごころ弁当実行委員会	【実績】 320,000 円
● 地域活動推進事業	【実施主体】梶原町社会福祉協議会	【実績】 100,219 円
● 弁護士による無料法律相談会	【実施主体】梶原町社会福祉協議会	【実績】 100,000 円
● 地域支え合い事業	【実施主体】梶原町シルバー人材センター	【実績】 75,000 円
● 独居高齢者訪問事業	【実施主体】梶原町ボランティアよつば会	【実績】 70,000 円
		支払合計 665,219 円



まごころ弁当実行委員会
配達前に出発式を行い、地域の皆さんに心を込めてお弁当を届けました。



梶原町ボランティアよつば会
メンバー21名が、ちらし寿司とおまんじゅう2個を122名にお届けしました。声を掛けたお助けマンが、配達応援に来てくれたためとても助かりました。



地域活動推進事業・・・みなさんの地域・団体でも利用してみませんか？

この事業は、住民の皆さんの交流の促進や集いの場づくり等の活動を応援することを目的とした赤い羽根共同募金助成金の事業です。

<令和3年度の活動報告>

今年度もコロナウイルスの影響もあり、地域の集まりや活動が思うようにできない状況もありましたが、4団体が助成金を活用して、活動を行いました。

- 井の谷元気でいよう会 : 健康相談と百歳体操など
- 西区みんなで語ろう会 : 百歳体操の重り購入など
- 松原ゲートボールクラブ : 実施場所の整備など
- 西初瀬連絡会議 : 防災用品の購入、体験など



松原ゲートボールクラブ
防護ネット取り付け中！
ボールが外に飛び出したり、うさぎが入ってくることもなくなり、楽しく活動できています。



西区みんなで語ろう会
百歳体操の重りを購入し、筋力向上に向けて楽しく取り組んでいます。

「地域でこんなことやってみたい！」に助成金が使えのかもしれない。
お気軽に梶原町社協までご相談ください。
申請時には、地域の担当職員がお話を聞かせていただきますので、
ご協力よろしくお願いします。

「あそぼん会」発足しました!



葦が峠

下西の川の地域の方々から「集いの場をつくりたい」との声があり65歳以上の方々にアンケートでの聞き取りをさせてもらい、協力者と住民さんと一緒に進めて来ました。まずは「**梶原町を知ろう**」ということになり、11/18に葦が峠・大野ヶ原へおとなの遠足に行ってきました。お弁当やコーヒー、果物など詰め込みワイワイ言いながら楽しんで来ました。「あ〜、楽しかったよ!また行こうね。」との声・声・声!!



同時に、**百歳体操の開催** (毎週水曜日実施) も決まり、自分たちのやりたいことがどんどん増えています。住民さんは今後、他の地域や世代間交流も目指しています。

さすが仕事師2人組♡息もぴったりで、桜の木の成長を祈り、巻き付いたツルを外していました。(笑)



「ありゃりゃ!💧こんなにツルがまきついちゃったら、ようふとらんけん、ツルをのけちよいちゃろうヨ!」

よいしょと💧 ちょっと寒いが、えい天気じゃねエ☀️(笑)



梶原高校(3年)・竹の藪・下西の川合同百歳体操



11/10に「いつまでも地域で住み続けるために」との思いで**下西の川の百歳体操**がスタートしました。この日は、**梶原高校**の生徒さんが【**地域の高齢者を元気にしたい**】との事で竹の藪の百歳体操の皆さんと合同で参加してくれました。参加してくれた地域の皆さんは高校生と色々な話をしながら、とびっきりの笑顔で、時間いっぱい交流していました。

上松いきいき・初瀬いきいきと交流会・優勝大会

7/20に初瀬お助けマンと上松いきいきがポッチャ交流会をしたのがきっかけで、12月に初瀬いきいきおかえし交流・ポッチャ優勝大会が行われました。この日は、忘年会も兼ねていて、たくさんの美味しいご馳走も作って頂き、とてもいい交流ができました。



ジャックボール
どーぞ!

上松 A チーム1位

上松 B チーム3位

担当: 矢野 裕子



神の山部落防災座談会

10/27に神の山部落では被災時の孤立の不安感が強く「災害時みんなで助け合っていくために今、自分たちが何をすれば?」と題し座談会を行いました。防災マップや持ち出し品リストを見ながら緊急時の連絡網作成など話し合いました。「台風の際は避難出来るけど地震の時は困るねえ?」「水は、重たい避難所に備蓄しちょっとめいね。」「そうじゃねえ、水や米は、一人じゃ無理!」「来年は、消防に来てもらってケガをした時の対応も教えてもらったらいいかも?」の意見に、梶原町役場の那須防災アドバイザーから「そんな時は担架が役に立ちますよ。崩れた場所から助け出して、運んで行けるんでね!、最初の対応でケガの治り具合も変わりますしね!」「**やっぱり来年は、消防署員を呼んで教えてもらおう!**」と来年の予定も立てました。

11/7に県下で行われた防災訓練で、出来上がった連絡網を使い訓練しました。しっかり機能して区長に安否の連絡が出来ました。



ここが、土砂災害警戒区域って言いよったかね?

地域紹介

四万川の地域を回っていて、こんな『何でも どうぞ市』を見つけました!

(中越さん・吉田さんの話しより)

1年前位から家で不要になった品物を**中越食品**の書庫に出したのがきっかけです。

持っていった人は役に立っていると喜んで、自分の家の不要なもの(新品・中古品あり)を持ってきて置いてくれる流れができました。今では前を通ったついでにのぞいて行ってくれています。

コロナが終息したらぜひ、ここでイベントをしてみるのもいいかな...との担当の声に地域の方からも賛同を得ました。



もったいない精神
ですかね(笑)

初瀬(西)の3部落それぞれが防災座談会実施

変更点や検討すべき事項、安否確認の方法等について共有・確認をしました。



7/18 佐渡部落

11/12 仲久保部落

11/15 初瀬本村部落

11/28 初瀬(西)避難訓練・初瀬(西)防災座談会

キャリアフ（担架）を使った避難訓練や、防災座談会では3部落の座談会の共有や次年度の活動について意見出し等を行いました。また、バックッキングで災害食づくり・試食も行いました。



うまく運べない！竹と毛布で担架を準備しよう！

食材をポリ袋に入れて加熱するだけでえ～！見た目はイマイチやけど、味はうまい！

12/20 初瀬(東)防災座談会

区長と初瀬(東)の4部落代表とこれまでの座談会の振り返りと変更点や検討すべき事項、今後の活動について話し合いました。今後は誰でもできる救助訓練などをやったらいいなどといった意見もあり、区長を中心に活動について計画を立てていくことになりました。



健老会「優良老人クラブ」表彰 第2回 上松&初瀬ポッチャ交流

12/3 に初瀬いきいきにて、初瀬西の老人クラブ『健老会』が会員増と活発に活動されたことから高知県老人クラブ連合会より「優良老人クラブ」として表彰され、表彰式を行いました。

また、「第2回上松&初瀬ポッチャ交流大会」も実施しました。2回目の開催を皆さんとても楽しみにしていて、皆さんとても盛り上がっていました。1位上松チームA、2位社協職員、3位上松チームBという結果になり、惜しくも初瀬チームは上位にはなれませんが、「リベンジしたい！練習せんといかん！」とやる気を燃やしていました。「楽しかった！またみんなでやろう！」と交流会はこれからも続いていきそうです！

担当：西村 悠



後別当 100歳体操 ～梶原高校3年生と交流～

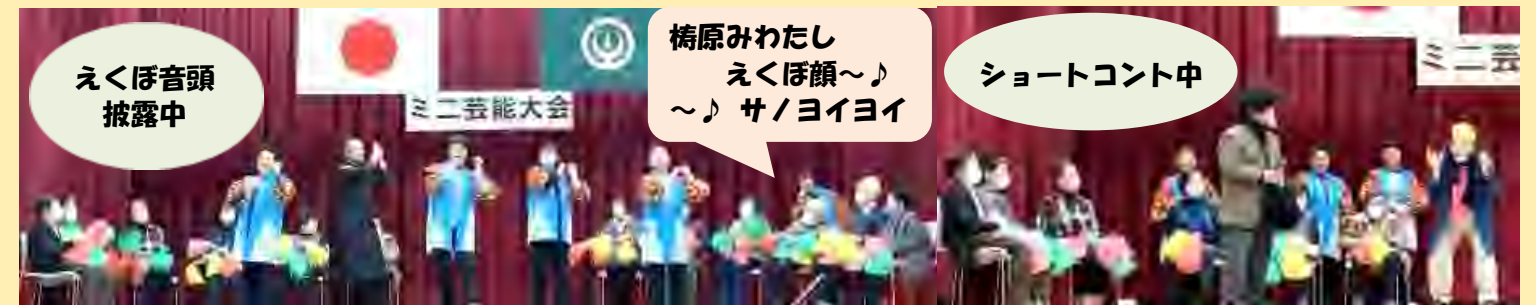


11/17 に梶原高校3年生の「交流することで高齢者を元気にしたい！」という思いを受けて、後別当部落の「後別当 100歳体操」につながりました。当日は、一緒に100歳体操をした後に、高校生が考えた風船ゲームなどをして、とても盛り上がりました。地域の方と話す時間を持つこともでき、楽しく交流することができました。このような交流の機会があまりないため、「楽しい時間だった！」「元気をもらった！また来てほしい！」と高校生との交流をととても喜んでいました。



東区サロンえくぼ ～ミニ芸能大会に出演～

東区サロンえくぼでは、毎月第2木曜日に東区集落活動センターにて約20名が集まり、楽しく過ごしています。活動の中で、「炭坑節の替え歌をつくろう！」ということになり、参加者みんなで歌詞と振り付けを考え、『えくぼ音頭』と名付けました。「12月に町老連主催のミニ芸能大会があるので、えくぼで出てみませんか？」と声をかけると、「出てみよう！」ということになり、踊り担当、歌担当、フリフリ担当、ショートコント担当に分かれて、みんなで練習をしてきました。12/16の当日は、大トリということで緊張もありましたが、楽しく披露することができました。他の参加者から「良かった！」「おもしろかった！また見たい！」といった感想もあり、とても嬉しそうでした。老人クラブ会員以外の参加もあり、老人クラブの活動についても皆さんに知らせてもらえました。



地域の紹介

地域の集いの場では、地域の皆さんの声かけにより、参加者も増え楽しく活動していました～！



にこにこ喫茶(毎週火・金 13:30～) 認知症予防のためにみんなで集まっています！皆さんもぜひ来てください～！



ゲートボール 雨の日も雪の日も毎日、和田城でゲートボールをしています！生きがいです！！

松原区独自の粗大ごみ収集



松原区では令和3年度より区独自の粗大ごみ収集が行われています。令和3年度の寝具収集の際「気になっていたのがよかった。」「すっきりした。」「重たいものは自分では出せない。」「今は出せないが、集めてくれるのは有難い。」などの声が出ていました。

6月の部落代表者会で、「金物の収集をしてみてもどうか。」という意見があり、今年度は金物の収集も実施しました。部落代表者会や役場環境整備課との意見交換の場を設けるなど、実施に向け話し合いが行われ、令和4年2/12の地区収集に合わせ実施しました。チラシ作成、連絡調整、集積所までの運搬など区が中心となり、当日はトラック1台分の粗大ごみが集まりました。



あいの里には、リサイクルボックスも設置され（収集は第2水曜日）生活課題解消へ向けた取り組みが行われています。

松原サテライト ババ抜き大会



地域の集いに社協職員も参加させていただいています。この日の松原サテライト（高齢者の集い）ではババ抜き大会を行いました。人数が多いとなかなか数字が揃わず、「こんね〜。」「やっと順番来たと思うたらババにババが来た。」と大笑い。手作りの表彰状も渡しました。マニキュアを塗ったり、しりとりやポッチャをしたり、「ここに来たらみんなの顔が見えるけ楽しい。」「サテライトの日を楽しみにしちゅう。」と話されていました。

ゴミ問題などみんなの困り事についても話し合う場となっています。



松原部落 アンケート実施

松原部落の松原ふれあいセンターは、災害時には避難所となり松原区の拠点となります。

そこで【防災意識】と【松原部落の集いの場への参加について】のアンケートを実施しました。

アンケートの結果については今後部落会や地域の集いの中などで情報共有を行い、災害時発生時の備えや支え合いについて考えていく予定です。アンケートのご協力、ありがとうございました。

ご協力

ありがとうございました

ございました！



田野々部落 防災座談会



10/9 には昨年の座談会の振り返りと現状の確認、防災グッズの展示、体験を行いました。

田野々部落では令和2年9月にも防災座談会を実施しており、その際、災害に備えて【備えていること】【備えたいけど出来ない事】【その他】を書き出していただき共有しました。家具の固定や耐震診断、耐震補強などが出来ていないとの意見が出ていましたが、非常食の準備や持ち出し袋の用意、寝室での安全確保など、事前に準備できる物への対応も昨年よりできていると答える方が多く、「近所の方が声掛けをしてくれる。」との意見も出ていました。普段からの交流や情報交換が災害時でも必要であることが話し合われ、普段の交流の大切さの再確認ができました。

現状確認と意見

- ・非常用の食べ物、飲み物がある …15件
- ・持ち出し袋を用意している …12件
- ・家具・寝室の安全が保たれている…10件
- ・安否確認は電話や訪問し確認をしている。
- ・地域として災害時の助け合いは出来る。
- ・住宅入居者やIターン者との交流があるといい。



紹介した防災グッズ

- ・段ボールベッド
- ・簡易トイレ
- ・ランタン
- ・非常用ライト 等

越知面老人クラブ【千樹会】の活動



11/6 に津野町の天狗高原にある

「星ふるビレッジ TENGU」に出かけました。越知面から天狗高原までは近いようでも行く機会がなく、「新しくできた施設に行こう！」とプラネタリウムを体験しました。解説付きの星空を眺め「きれいやった。」「また違う時期の星空も見に来たい。」と喜びの声が聞かれました。食事と買い物を楽しみ、風車を見学しました。お天気に恵まれ、久しぶりのお出かけを皆で楽しむことができました。



12/16 に梶原町老人クラブ主催のミニ芸能大会にも参加し、きよしのズンドコ節に合わせ、介護予防体操を会場の皆さんと一緒に踊りました。グランドゴルフの定期練習を行ったり、予定を合わせてポッチャの練習をしたり、様々な楽しみ方を工夫して活動されています。



YURURI 徒然 ボランティア 日記

複合福祉施設 YURURI は今年度設立 5 年目を迎えました。ご利用者とご家族はもちろん、多くの地域の方々にも支えられています。今回はそんな地域の方々の YURURI での活躍を紹介させていただきます。

デイサービス ゆるい



フラダンス



昨年の 12 月にクリスマス会を開催した際、デイサービス職員も参加しているフラダンスの方々にお越し頂きました。

また、違う日にはオカリナクラブの方が演奏や南京玉すだれもご披露いただきました。ご利用者の皆様も音楽に合わせて手拍子をとったり、「アンコール！」と大きな声も聞かれました。

顔見知りの方もおられ、終わった後は話をされたり写真撮影をされて、最後まで楽しまれました。



オカリナクラブ

ケアハウス ゆるい

ケアハウスゆるりでは、お正月準備のお餅つきに、お馴染みの地域の方に手伝いに来ていただきました。誤嚥による窒息事故防止のため、ゆるりのお餅には『おから』を混ぜて、高齢の方でも安心して食べられるように工夫しています。この知恵も同じ方にご指導頂きました。もち米の蒸し加減や、餅のつきあがり・あんこを入れて成形するに至る、お餅のつき方の全てを習いながら、職員だけでは到底作ることができない美味しいお餅ができあがりました。またご利用者とも顔なじみで「元気にしよった？」など、ご利用者お一人ずつに声をかけてくださり、「来年もまた来るき、元気にしよってよ。」と、すでに次の約束も交わされていました。



キツイ！
まだですか？

はい！もう一丁！
それ！もひとつ！

まだまだ！
がんばれ！

笑

* * 掛け声だけはなんと調子がいいね



ゆる〜りごはん



ゆるりの厨房では季節の野菜や果物、地産地消を目指した材料の使用、また、なによりもご利用者に「美味しい!」と言っていただけメニュー、そして安全に食していただける調理をモットーに職員一同頑張っています!!

ある日のお昼ご飯を
紹介します。



ごはん

ふし和え



なすの生姜煮



鶏の照り焼き

高齢者は、咀嚼（そしゃく）や嚥下（えんげ）も加齢に合わせて衰えます。また脳梗塞などの病気により急にこれらの力が弱まる事があります。そうするとむせこむことが多くなり、それが続くと肺炎になったり、窒息という危険な状況にも陥りかねません。また嚥下や咀嚼の状況だけでなく、箸を使うための手指の力や巧緻性（こうちせい）（手先や指先を上手に使う事）など、ご利用者の「食べる力」の状態に合わせて主食や副食の状態を下図のようにして提供しています。



一口大

一口に入る大きさに切って提供します。大きく口を開けることが苦手な方や、箸で切り分けが苦手な人は、こうすると自分で食べられるようになります。



きざみ

細かく刻んで提供します。特に咀嚼（そしゃく）の弱い方に適しています。しかし、唾液が少ない等の理由で、口に入れた食物を飲み込むために、口の中でうまく塊にできない方にとっては逆にむせやすくなります。そのようなときには餡かけのようなトロミを加えると上手に食べることができます。



ペースト

ミキサーにかけてペースト状にします。その時、食材に汁気がないと上手くペーストにできません。味が薄まらないよう出し汁とトロミをつける粉を足し、粒が残らないようになめらかに仕上げます。繊維が多い食材（キノコ類等）はペーストに向きません。特に嚥下機能が低下している方に適しています。

輝く橋原人！み～つけたっ〇〇！

in 西区



年齢は少しばらついてますが(笑)
大先輩から作り方を教えてもらい、作り続けて●十年！「今ではあうんの呼吸で作れるようになったがよ(笑)三人がバラバラやったら、喧嘩になるけね！」と素敵な笑顔を見せてくれました。

味噌づくりの話から、夫婦円満のコツまでにこやかに話してくれました。

松谷部落で味噌作りをされている3人組

- 左から 市川 久子さん (73歳)
- 藤原 美寿恵さん (67歳)
- 市川 美奈子さん (70歳)

市川 久子さんのおはなし



私は、おじさんの口利きで、結婚して50?年(笑)
子供は、女の子2人・男の子1人・色々なことがあったけど、子も育ち、今はそれぞれが、子育て中で、じい・ばあは、うれしいやら、忙しいやらで(笑)でもまた、それが生きがいにもなっています。「おじいちゃんのお米はおいしい！」と、言ってくれるのがうれしいらしくて、文句を言いながらも、孫からの電話に目を細めて喜ぶ夫の顔を見ている、この頃です…」と、満面の笑みで話してくれました。

『自分は味噌を作るのが、楽しみのひとつです』
夫婦円満の秘訣?!?!(笑)「50年も一緒におったら『オタガイサマ』ってことかな。(笑)」

市川 美奈子さんのおはなし



結婚して46年。女の子1人・男の子2人。
私は、山登りが大好きです。夫と、友達とよく行っていました。頂上まで、色んな話をしながら登りきった後の、お弁当は格別です(笑)。

コロナで、孫と会う機会が少ないけど、遊びに来た時には YouTube の取り合いをしている夫に笑えます。孫の為に、手間ひま掛けて、無農薬の米作りにこだわりをもっているし、間伐の仕事もしているので、時々体力の限界と言う夫に(そうだろうな)とも納得するし感謝もしています♡仲良くする秘訣は【愛情と忍耐かな…(笑)】『え!?プロポーズされたかって!? (結婚してほしい)って指輪をくれたよ(笑)』

味噌づくりを体験してきました

1 蒸す



2 麴を混ぜる



3 豆をつぶす



4 麴と豆を混ぜる



5 空気を抜く



みすえさん、最終工程。力を込めて空気を抜く打ち込み。パーン!! ~ パーン!! ~と大きな音が、松谷部落に響き渡っていました(笑)

藤原 美寿恵さんのおはなし



私は、花を育てるのが大好きです。花を見ていると心が和みます。友達もよく、花の苗を持ってきてくれます(笑)。結婚して44年。女の子1人・男の子2人。仕事、仕事の夫やけど、優しく、子育てには協力してくれました♡ 夫は、孫が来たら嬉しくてたまらないように魚釣り、キャッチボールなど、楽しそうに遊んでくれます。そんな夫の顔見たらなんか(心がホワッ)と温かくなって、自然と笑顔になれます(笑)

孫たちが大好きで『おいしい!』と言ってくれるお米と、3人で作る味噌作りをこれからも続けたいな・・コロナが落ち着いたら旅行にも行きたいなと思います。



お助けマンの活動を紹介します！



日頃の趣味や特技を活かして活動できるボランティア【お助けマン】はさまざまな場所で活躍しています。

今回ご紹介するのは市川辰寿さんです。市川さんは日頃から地域の人と関わる機会が多く、今までには柚子取りのお手伝いや、四万川区の「なんでもどうぞ市」の出品のお手伝いなどをしてくれています。

困りごとの相談をされると「ちょっと待ってや〜」と言って解決出来る人へつなぎ役をするなどさまざまなお助けマン活動をされています。



お助けマン
カード



「別に体が空いているかぎりは・・・大丈夫！！いろんな人と話できるし、楽しいで！手帳もやったことを書いていただけやし大したことないよ」と照れながらもやりがいがあることを話してくれました。

地域のお助けマンは引き続き募集をしています。登録された方に【お助けマンカード】と【お助けマン手帳】をお渡ししています。ぜひ、ご活用ください。



介護の基本がわかる!! 生活援助従事者研修



身の回りの生活を支援する「生活援助」を学ぶ生活援助従事者研修が、2月1日から26日まで(21日間59時間)開催されました。夜間、休日の研修でしたが、3名の受講生は皆さん無事修了されました。初めは耳慣れない言葉に戸惑いながらも、日を重ねるにつれ、介護をするうえで大切な心、知識、技術に学びを深めることができ、各講師も現職の専門職の方ばかりで、工夫されたわかりやすい講義で、充実した内容となりました。受講生「実体験に基づくお話を聞け、様々な場面でどうしたらいいのか、たくさん考えることができて楽しかった。」「コミュニケーションの大切さが印象に残った。」「自分が介護される側になった時に役立つと思う。」

この研修は、介護の入り口の研修で身体介護は含まれませんが、上位資格の研修の際には同一内容が免除されます。



無料法律相談会(令和4年度開催予定)

※赤い羽根共同募金配分金事業

◆無料法律相談会(会場 梶原町社協)

5月29日(日)

10月23日(日)

令和5年1月29日(日)

※いずれも午後1時~午後4時10分

相談時間 40分(各4名)

★予約等、お問い合わせは社協まで



法テラス須崎法律事務所
西浦嘉博弁護士 小野 歩弁護士



須崎ひまわり基金法律事務所
三上翔平弁護士